

第2回教職セミナー 8.3

令和4年8月3日に第2回教職セミナーを実施しました。長崎大学 脇信明准教授を講師に迎えて、3・4・5歳児の発達について学びを深めました。

3歳児は、子どもと教師のつながりを基本として、子ども同士がうまくつながることができるように教師が関わっていくことが大切であるというお話でした。子ども同士でイメージを共有して、友達と関わって遊ぶ楽しさを味わうことで、自我が発達していくそうです。また、第2の自我と呼ばれる社会的知性というものもあります。自我は主体的活動の原動力で、社会的知性は社会的活動の原動力になります。大人は、ついつい社会的知性を求めがちですが、自我がしっかりしている子どもは、将来他者との関わりがよくなるということでした。子どもたちは、自己内対話を行い、試行錯誤しながら、自我と社会的知性のバランスをとれるようになっていきます。

子どもの社会的知性を育てるためには、自我を受け止めることが必要で、子どもたちは、自分のやりたいことや要求を受け止めてもらえると安心感を感じ、聴く姿勢をもち、社会的知性を意識するようになるそうです。

保育の中でもこのことを大切にし、子どもたちの思いに寄り添って、「したい 知りたい やってみよう」を実現できるようにしていきたいです。